



木ぼこや 佐藤 武志

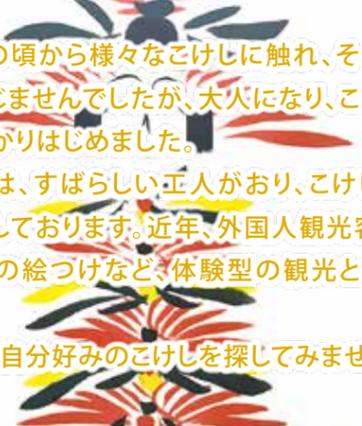


東北のこけしには11系統あり、さまざまな形や表情があります。その中でも、遠刈田系の秋保こけしは、やさしい表情と、華やかな色遣いが印象的です。

子どもの頃から様々なこけしに触れ、そのときは何も感じませんでしたが、大火になり、こけしの魅力が分かりはじめました。

秋保には、すばらしい正人がおり、こけしの技術を継承しております。近年、外国人観光客が増え、こけしの絵つけなど、体験型の観光となりました。

秋保で、自分好みのこけしを探してみませんか。



佐藤こけし屋 佐藤 武直

こけしと工人

工房に鳴り響くロクロの音
美しい木肌に繊細な筆遣いで描かれる



古より受け継がれた技で生み出されるこけし
そんな「こけし」と「工人」に出会う旅



玩愚庵こけし屋 鈴木 明

いってみっぺ 秋保 こけしと工人

企画・発行：秋保地域資源活用委員会・仙台市
連絡先：秋保総合支所総務課 (022-399-2111)
秋保市民センター (022-399-2316)

秋保の地に伝わるこけし
美しい表情と、そのやさしい眼差し
こけしと工人をたずねる、秋保の旅。



我妻こけし 我妻 敏



江戸独楽 前田 良二

掲載されている情報は、令和2年3月現在のものです。

訪れてみたい秋保
二口街道ツアー 62

No.29

地元作り手の作品が集結
5 木の家 秋保手しごと館



2010年にオープン。地元の作り手の作品を一堂に会して展示販売しています。もちろん、こけし工人の作品も展示されています。

TEL 022-397-2714
〒秋保町湯元字馬乙2-1
10:00~16:30(季節により変動有)
※1・2月の水・木曜日

プチメモ

毎年初夏に「こけしと暮らす展」を開催。地元こけし工人の作品をはじめ、他地域のこけし、こけしを愛するクリエイターたちのこけしグッズ、雑貨などがたくさん並びます!開催日程はHPにてご確認ください。

0.8km 車2分 徒歩10分 自転車5分

手しごとの技に驚愕!
4 木地玩具 木ぼこや

秋保こけしの伝統を踏襲しながら、木地玩具などを作り続けています。「人が作らないもの、どこまで小さいものを作れるか、それに挑戦するのが楽しいです(笑)」と話す佐藤武志工人の工房内には、一木で切り離すことなく輪をいくつも削り出した「輸入りこけし」や米粒よりも小さいこけしなどいろいろあり、驚かされます。

TEL 022-398-2551 〒秋保町湯元字鹿乙24-2
9:00~18:00 ※不定休 ※電話での確認の上ご訪問ください。



秋保こけしとは?

秋保温泉でこけしが作られるようになったのは、明治中頃の太田庄吉が最初といわれています。その後、弟子である佐藤三蔵が秋保型のこけしを考案し、広めていったとされています。

秋保のこけしの特徴は、
① 胴が比較的太く、肩と裾部に2本の深緑色の太いろくろ線が描かれる。
② 淡い頬紅をいれ、数多い放射状でがらの中央に「乙」字状の模様が入る。

「秋保こけし工人系譜」



なぜ頭頂部に「乙」?

秋保こけしの最大の特徴、頭頂部の「乙」字状の模様。「乙」があれば「秋保こけし」とすぐにわかります。「秋保町史」では「乙は、密教における呪いの印で、その昔藩主が子供の厄除けのため、2本のこけしを作らせて泉明寺の子育薬師に祈祷したあと、1本を名取川に流し、もう1本を子どもに与えたという故事に因んでいる」とありますが、理由は定かではありません。

「秋保郷土かるた」

こけしと工人



「手しごとの」美を感じて! こけしの絵付け体験も!!
3 秋保工芸の里

9つの伝統工芸の職人たちの工房が連なり、彼らから創出した作品はどれも手しごとの温もりを感じることができます。こけし工房は「佐藤こけし屋」、「玩愚庵こけし屋」、「我妻こけし」、「御独楽處廣井」の4件あります。こけしの絵付け体験をしてオリジナルこけしも作れます(事前予約がおすすめ)
〒秋保町湯元字上原54 ※各工房によって異なる

1.5km 車4分 徒歩25分 自転車10分

佐藤こけし屋 佐藤 武直

佐藤三蔵のひ孫にあたる佐藤武直工人の工房。「秋保こけし」の工人は、叔父武志と2人だけになってしまいましたが、「量はできないけど、親父(円夫)から受け継いだ伝統を守り続けながら作りたい」という思いで制作しています。
TEL 022-398-2627



玩愚庵こけし屋 鈴木 明・鈴木 敬

3代目の鈴木明工人は、「モノ作りで大切なのは見えないところもきれいに仕上げ、ごまかす仕事はしない」という父昭二の教えを大切に仙台・胞吉型こけしの復元・制作をしています。2015年の全日本こけしコンクールにて「内閣総理大臣賞」を受賞。近年はその技術を活かした豆こけしなども人気を博しています。4代目の鈴木敬工人は、石川県挽物轆轤技術研修所にて木地師の技術を修得。2017年に実家に戻り、父よりこけしを学んでいます。伝統こけしに関心が高く、研究しながらその制作に励んでおります。
TEL 022-398-2673



御独楽處廣井 廣井 道頭・前田 良二

東京で木地屋の家系に生まれ、幼少期からロクロで木地を挽き、やがてユーモアあふれる江戸独楽を作るようになりました。戦時中に宮城に疎開、その後我妻吉助よりこけしも学びました。「頭の中で次何を作ろうか、想像し形にするのが楽しいね」と笑顔で話す廣井道頭工人から生まれた独楽は、子供だけでなく大人も楽しめるものばかりです。一見置き物に見えるものもその飾りの一つひとつが、分解すると全部独楽、そんな作品も多々あります。現在、弟子の前田良二とともにユニークな独楽を作り続けています。
TEL 022-398-2770



我妻こけし 我妻 敏

遠刈田系こけしの第一人者であった父の我妻吉助に師事、遠刈田系松之進型を中心としたこけしを制作しています。店内にはこけし以外にも彼のロクロ挽きの技術が活かされた漆器なども多く並んでいます。代々受け継がれてきた伝統を重視して、「簡素化の美」を追求しながら「ホンモノ」を作り続けています。
TEL 022-398-2327



秋保の東端にあるこけし像
1 巨大こけし
県道62号線(秋保街道)沿いにある高さ6.5mと7.3mのこけし像。訪れる市民や観光客をお迎えしてくれています!(歩道・駐車場はないので見学の際は気をつけて!)

1.2km 車3分

秋保温泉郷の総合観光案内所
2 秋保・里センター
展示スペースには地元に工房を構えるこけし工人の作品も展示されています。
TEL 022-304-9151 〒秋保町湯元寺田原40-7
9:00~18:00

プチメモ
秋保・里センターではレンタサイクル(大人用の自転車のみ)もあります。天気がいい日はサイクリングで周遊するのもGood!
料金 無料(保証金1,000円有り)
利用可能日 4月~11月(※雨天時は貸出中止)

1.7km 車4分 徒歩30分 自転車15分